

# 晴耕雨読

デイサービスケアスタ中町の広報誌



[ Seiko-udoku ]

2023年10月 vol. 56 CARE★STA

## トリック・オア・トリート



▼栗をたくさんいただきました



▼玉ねぎを植えました

10月31日はハロウィンということで、かぼちゃカレー、かぼちゃのケーキを作りました。途中からお化けも参加して、利用者様にも楽しんでいただけました。



twitter  
carestanakamach



Facebook  
caresta.day



Instagram  
care.sta

# 晴耕雨読

デイサービスケアスタ中町の広報誌



[ Seiko-udoku ]  
2023年10月 vol. 56 CARE★STA



作業療法士監修

## 一軒家“まるごと”生活リハビリ型デイサービス



認知症の人には、なじみの、  
生パン作り、バイキング、  
コーヒー・焙煎、ノルディック  
ウォーキングなど、紙面上で  
は紹介しきれないプログラム  
を多数ご用意しております。  
それぞれのプログラムに目的  
と効果を設定して、プログラム  
を行う事で日常生活動作の  
訓練を楽しみながら行う事が  
できます。

### 20種類以上の 選択プログラム

#### ▼畑・園芸



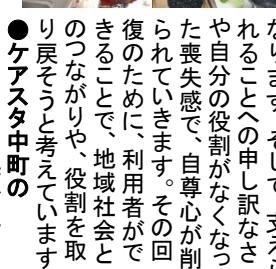
#### ▼料理



#### ▼薪割り・ご飯炊き



#### ▼パン作り



#### じかじ、出来る事もあるのです！

### これまでの介護の課題

「自宅やデイサービスで、ご自分がしたいこと、できるを見つけて出し、身体的機能と認知機能の維持・向上を図ります。また、少しだけ頑張っていただきを選びます。そのことが、生活の質の維持・向上につながると考えるからです。

□様々なプログラムがありますので、おひとりの「利用者の心に潜んで、じてみたいこと」を一緒に探し出し、そのことが実現できるようにサポートいたします。

集団にならぬ方でも対応できます。また、これまでの生活習慣を変えないように、料理や掃除、社会参加。

認知症の人は、なじみのない行動は苦手です。目的や手順を説明されても理解が難しかったり、忘れてしまったりして、混乱・困惑し、時にはやられていることへの怒りを感じることもあるでしょう。

一方、積み重ねてきた作業が覚えていることがあります。認知症の人は、そうして「体で覚えたこと」「なじみの作業」は、失われにくく傾向があり、生活リハビリではまさにその人のなじみの作業を行います。慣れた行動、わかりやすい目的のため、前回のような感情にとらわれずします。



### 支えられる側から 支える側へ

●できないことを“あげる”のは、単なるお世話を

●できることに焦点を当てて、その人らしく暮らせるようにするのが介護

●年をとつて、体が弱つてくると、受け身になり自分で動くことが少なくなります。そして、支えられることへの申し訳なさや自分の役割がなくなつた喪失感で、自尊心が削られていきます。その回復のために、利用者ができることで、地域社会とのつながりや、役割を取り戻すと想っています。

- ①家や施設などの自分が所属している場所の役に立つ活動
- ②地域社会や人の役に立つ活動
- ③対価を得られる活動

ご利用に関するご相談はLINE  
またはお電話でお問合せ下さい！  
0228-24-8456



株式会社晴耕雨読 デイサービス ケアスタ中町